

鈴 鹿 大 学

Suzuka University

同 窓 会 会 誌 No.14

平成 30 年 3 月 発行



目 次

| | | | |
|----|--------------|---------|----|
| 1. | 会 長 挨 拶 | ・ ・ ・ ・ | 2 |
| 2. | 副 会 長 挨 拶 | ・ ・ ・ ・ | 3 |
| 3. | 役 員 紹 介 | ・ ・ ・ ・ | 4 |
| 4. | 平成 27 年度収支報告 | ・ ・ ・ ・ | 5 |
| 5. | 平成 28 年度収支報告 | ・ ・ ・ ・ | 6 |
| 6. | 恩師からのおたより | ・ ・ ・ ・ | 7 |
| 7. | 近 況 報 告 | ・ ・ ・ ・ | 8 |
| 8. | 会長・石橋の趣味雑談 | ・ ・ ・ ・ | 9 |
| 9. | 編 集 後 記 | ・ ・ ・ ・ | 10 |



1. 会長挨拶

同窓会員のみなさま、いかがお過ごしでしょうか？

まず、昨年度の会誌発行がとんでしまった件、お詫びいたします。その分、今回は中身の濃いものを・・・と目指しましたが。

私は、相変わらずチョコレートとワインに入り浸っております。（詳しくは、「会長の趣味雑談」のページをご覧ください。）

さて、真面目な話ですが、同窓会活動としては、昨年度は初の試みになりましたが、学祭でのライブイベントを同窓会主催で開催いたしました。大学を少しでも盛り上げようという思いの下、計画しました。当初希望していたアーティストさんは、県内の他校に負けてしまい叶いませんでしたが、FM愛知の番組の公開収録という形で5組のアーティストさんにご出演していただきました。構想からおよそ10ヶ月間、開催までの道のりは予想以上に険しいものでした。開催が近づくにつれ、ほぼ毎週のように、大学等へ集まり、試行錯誤を繰り返していました。その苦勞は一言では言い表せません。

関係各所のさまざまな方のご協力があったの事だと思っています。そのため、無事成功できたときの達成感も大きなものでした。結果的には、ご来場していただいたお客さんからも、ご出演していただいたアーティストさんからも、概ね好評の様子でした。ただ、同窓会企画ではあるものの、大学側がもう少し積極的にこの企画にご協力いただけたら、もっと盛り上がったのではないかな、と思うところがあり少々複雑な気持ちでもありました。「次回も是非・・・」との声も一部からは頂いておりますが…ある種の社交辞令ということ。。。

正直なところ、ここ数年、大学側との関係が、お世辞にも「良好」とは言えない状況が続いております。よりよい関係を築いていきたいという考えも持ちつつ、同窓会としての独立性も確保していきたいと考えています。

今後も、より多くの会員の方にご参加いただけるような企画も考えていきたいと思っています。

大学同窓会の発展のため、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

鈴鹿大学同窓会 鈴風会

3代目会長 石橋 賢一郎

2. 副会長挨拶

同窓会員のみなさま、いかがお過ごしでしょうか？役員をはじめ、たくさんの方に支えていただきながら同窓会の活動が続けられていること、本当に感謝いたします。

さて、今回の会誌は2年分のボリュームになります。会長の挨拶にもありますように、昨年の学祭は同窓会主催のライブイベントを開催しました。期限があり、決めることもたくさんある中で、すべてのことが初めての経験でした。自分の組織内での連絡さえも、すべてのメンバーに同じことを伝えることは難しいものです。そんな中、同窓会、大学、ライブ関係者の方々、3つ以上の組織が絡んだ時の連携の難しさと、同窓会の力不足を痛感せざるをえませんでした。たくさんの連絡ミス、トラブル等ありましたが、関係各所のさまざまな方のご協力があったが無事に終了することができました。「次回も是非」とあいさつがあった時には、強くこみ上げてくる温かなものを確かに感じました。

そして今年、過去の会誌を大学のホームページで見たら、私が同窓会の運営に携わって約8年ということに大変驚きました。最初のころと比べると、役員メンバーも体制も大きく変わり、懐かしさに胸が温かい気持ちでいっぱいになりました。

ただ、懐かしむだけでは何も変わりません。10年一区切りといいますが、そこに向けて卒業生のために、これからも頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

鈴鹿大学同窓会 鈴風会

3代目副会長 樋口 敦俊

3. 役員紹介

| | | |
|-------|---------|---------|
| 会 長 | (H18 卒) | 石 橋 賢一郎 |
| 副 会 長 | (H17 卒) | 樋 口 敦 俊 |
| 書 記 | (H23 卒) | 近 藤 貴 子 |
| 監 事 | (H10 卒) | 林 明 幸 |
| 監 事 | (H17 卒) | 加 藤 聖 大 |
| 幹 事 | (H18 卒) | 真 柄 正 樹 |
| 幹 事 | (H22 卒) | 櫻 庭 恭 子 |
| 幹 事 | (H22 卒) | 長 岡 布由子 |
| 幹 事 | (H24 卒) | 庵 原 雅 之 |
| 幹 事 | (H27 卒) | 藤 崎 佑 眞 |
| 幹 事 | (H28 卒) | 青 山 桃 子 |
| 幹 事 | (H28 卒) | 李 義 受 |
| 幹 事 | (H28 卒) | 上 田 佑 亮 |
| 名誉会長 | | 市 野 聖 治 |

4. 平成27年度収支報告

平成 27 年度 鈴 風 会 決 算 報 告 書

自：平成27年4月1日 至：平成28年3月31日

| 収 入 | | | 支 出 | | |
|-------|----------------------|-------------|--------|------------------|-------------|
| 日 付 | 項 目 | 金 額 | 日 付 | 項 目 | 金 額 |
| 4月1日 | 平成26年度からの繰越 | ¥29,093,521 | 5月14日 | 26年度卒業生用卒業記念品代 | ¥38,016 |
| 4月1日 | ゆうちょ 利息 | ¥193 | 5月14日 | 同 振込手数料 | ¥540 |
| 6月30日 | 入会金 (25年度、26年度計67名分) | ¥1,005,000 | 5月14日 | 夏の懇親会案内ハガキ代 | ¥97,032 |
| 8月10日 | 百五銀行 普通預金利息 | ¥1,397 | 9月11日 | 夏の懇親会案内ハガキ用宛名印刷代 | ¥1,890 |
| 8月22日 | 百五銀行 定期預金利息 | ¥2,016 | 9月11日 | 同 振込手数料 | ¥54 |
| 2月15日 | 百五銀行 普通預金利息 | ¥1,602 | 9月18日 | 大学祭案内ハガキ代 | ¥96,928 |
| | | | 10月27日 | 学祭関連費用 | ¥28,984 |
| | | | 10月27日 | 学祭関連費用 | ¥1,998 |
| | | | 3月14日 | 27年度卒業生用卒業記念品代 | ¥43,254 |
| | | | 3月14日 | 会誌印刷代 | ¥66,960 |
| | | | 3月31日 | 平成28年度へ繰越 | ¥29,728,073 |
| | 収 入 合 計 | ¥30,103,729 | | 支 出 合 計 | ¥30,103,729 |

| 通帳合計(平成28年3月31日締め) | |
|--------------------|-------------|
| ゆうちょ 普通 | ¥1,440,931 |
| 百五銀行 普通 | ¥18,141,718 |
| 百五銀行 定期預金 | ¥10,115,424 |
| ゆうちょ 当座 | ¥30,000 |
| 合 計 | ¥29,728,073 |

平成27年4月1日から平成28年3月31日までの鈴風会の決算を監査しましたところ、諸帳簿・記憑書類の事実と相違ないことを認めます。

平成28年 4月 20日

監査者

林 明幸



加藤 聖大



5. 平成28年度収支報告

平成28年度鈴風会決算報告書

自：平成28年4月1日 至：平成29年3月31日

| 収 入 | | | 支 出 | | |
|---------|------------------|-------------|---------|------------------------------|-------------|
| 日付 | 項目 | 金額 | 日付 | 項目 | 金額 |
| 4月1日 | 平成27年度からの繰越 | ¥29,728,073 | 8月1日 | 学祭打合せ費用(学生会と)(6月25日実施分) | ¥10,050 |
| 4月1日 | ゆうちょ 利息 | ¥326 | 9月21日 | ラゲインイベント費用(ローナース)(別紙①参照) | ¥3,240,000 |
| 4月4日 | 入会金(27年3月卒業生1名分) | ¥15,000 | 9月21日 | 同 振込手数料(他行振込及び窓口扱のため) | ¥864 |
| 8月15日 | 百五銀行 普通預金利息 | ¥166 | 10月19日 | 外注費(松川さん) | ¥300,000 |
| 8月22日 | 百五銀行 定期預金利息 | ¥2,146 | 10月19日 | 同 振込手数料(他行振込及び窓口扱のため) | ¥864 |
| 10月1日 | ゆうちょ 利息 | ¥6 | | 学祭関連費(2日間分合計) | ¥400,702 |
| 2月13日 | 百五銀行 普通預金利息 | ¥62 | 10月25日 | 仮装イベント費用(畑田さん) | ¥50,648 |
| 3月14日 | 入会金(28年3月卒業生1名分) | ¥15,000 | 10月25日 | 同 振込手数料 | ¥864 |
| 3月23日 | 入会金(28年3月卒業生1名分) | ¥15,000 | 11月2日 | ラゲインイベント費用・追加分(ローナース)(別紙①参照) | ¥448,675 |
| | | | 11月2日 | 同 振込手数料(他行振込及び窓口扱のため) | ¥864 |
| | | | 11月6日 | 親睦会費 | ¥42,595 |
| | | | 12月15日 | 仮装イベント費用・追加分 | ¥170,000 |
| | | | 2月22日 | 28年度卒業生 記念品 | ¥61,333 |
| | | | 2月22日 | 同 振込手数料(他行振込及び窓口扱のため) | ¥864 |
| | | | 3月19日 | 親睦会費 | ¥21,900 |
| | | | 3月31日 | 平成29年度へ繰越 | ¥25,025,556 |
| 収 入 合 計 | | ¥29,775,779 | 支 出 合 計 | | ¥29,775,779 |

| 現金・口座残高合計 (平成29年3月31日締め) | |
|--------------------------|-------------|
| 現金 | ¥34,803 |
| ゆうちょ 普通 | ¥1,441,263 |
| 百五銀行 普通 | ¥13,356,920 |
| 百五銀行 定期預金 | ¥10,117,570 |
| ゆうちょ 当座 | ¥75,000 |
| 合 計 | ¥25,025,556 |

平成28年4月1日から平成29年3月31日までの鈴風会の決算を監査しましたところ、
諸帳簿・証憑書類の事実と相違ないことを認めます。

平成29年 4 月 30 日

監査者

林 明幸

加藤 聖大



6. 恩師からのおたより

海外研修の思い出

同窓生のみなさん、お元気ですか。僕は1994（平成6）年の本学創立と同時に、英語の教員として赴任しました。必修科目になっていた授業が多かったので、大部分の同窓生の方は、一度は僕と教室で顔を合わせたことがあると思います。

教え始めた頃は、年齢的に若かったこともあり、振り返ると未熟かつ稚拙な授業の進め方をしていたな、と思うところがあります。現在は、学生のみなさんの親御さんよりも年上になっている場合もあり、以前に比べると穏やかに教えることができるようになったのではないのでしょうか。今も昔も共通しているのは、上手に教えられない場合でも、丁寧に教えることは絶対に必要だと自覚しながら教鞭を取っていることです。

長きに渡って鈴鹿での教員生活を送ってきましたが、この3月に地元の関西に戻ることになり、これに伴い鈴鹿大学（2014年度までは鈴鹿国際大学）を退職します。今日はこの場をお借りして、鈴鹿大学での印象深いことから書きます。それは、海外研修です。

海外研修は、学生を引率する目的で3度経験しています。行き先は中国、スペイン、カナダの3か国ですが、このうち最も心に残っているのは2001年3月に実施した、カナダにおける梅田3年ゼミ・語学研修です。参加学生の年代は、国際文化学科の1期生（1998年入学）で、研修先は、バンクーバー郊外のラングレーという小さな町でした。ゼミ生10名は、それぞれホームステイをしながら午前中に英語の授業を受け、午後は職業体験をしました。この職業体験は、学生一人一人がビジネスホテル、CDショップ、美容院、スーパーマーケット、ガソリンスタンドなど、地元のお店でボランティアの形で働く形式でした。最初は緊張と不安が入り混じっていた学生たちも、3日目くらいから徐々に現地での生活に慣れ始め、充実した3週間の海外研修になりました。帰国の日、ホストファミリーとの別れを惜しんで、みんな泣いていました。それほど心に残るホームステイだったのです。

研修の様子は、帰国後に各学生が書いた留学体験記をホームページで掲載し、世界に和英2か国語で配信しました。今のようにSNSが発達している時代ではありませんでしたから、画期的な事後活動と言えると思います。やはり、物事は現地に直接行って、自分で確かめないと本当のことは実感できません。ですから、今でも英語を教える際には、とにかく海外に出て、自分でそこにあるものを見てほしいと学生のみなさんにくり返し伝えています。

現在の鈴鹿大学は留学生が多数在籍し、「国際」の名が学校名から消えて以降も、その特徴は変わりません。人もモノも簡単に国境を越える時代です。どうかみなさんには、何歳になっても「国際スピリット」を忘れずいてほしいと思います。

長きに渡り、ありがとうございました。ごきげんよう。

梅田肇（国際人間科学部学部長・教授）

7. 近況報告

2015年度、卒業生の藤崎です。卒業後、私はうどんチェーン店に就職しました。しかし、仕事内容を覚えきる前に上司による暴力が原因でやむを得ず退社しました。このような事が、まさか自分に起こるとは思っても見ませんでした。実際、会社内での暴力はニュース番組で時々、耳にするくらいだったので私自身、未だに信じられません。この関係で社会に対して不信感を抱き数週間、引きこもってしまいましたが自分の家族や大学の恩師に心配を掛けてはならないと思い立ちスーパーに就職。

現在は、そのスーパーのお惣菜コーナーにて毎日、美味しいお惣菜やお弁当を真心込めて作らせて頂いています。そして今、私は将来の夢である映画製作の仕事に就くため、今の仕事をしながら映画に関する事を独学で学んでいます。さらに、海外でも活躍出来るよう大学時代から学び続けている英語も合わせて学んでいます。諦めなければ掴めない夢は無い事を信じて頑張っています。



18期生 藤崎 佑真

8. 会長・石橋の趣味雑談

～ 徒然なるままに～ Vol.4

◆日本国内でのワイン事情◆

諸説あるが、ワインの起源は中東であったと考えられている。フランス・イタリア・スペイン等のヨーロッパ諸国が代表的な産地として思い浮かべられるだろうが、これらの国々もかつては「ワインの新興国」であった。そんな時代を経て、現在のようなワインの世界的な産地としての地位を確立している。今では、西欧諸国のみならず、南アフリカやオーストラリア、チリ等の南半球でも、良質なワインが数多く生み出されており、日本でも手頃な価格で購入することが出来る。これらの新興国の台頭によって、「ワインの勢力図」に大きな変化が出てくるのも時間の問題だろう。

一方、日本国内ではどうだろうか。日本でのワイン醸造の歴史は意外に古く、約 150 年程さかのぼる事ができる。近年の食の欧米化に伴い、今や、ワインも身近な飲み物になりつつあるが、かつて日本製のワインは、値段のわりには、あまり美味しくないという印象が強かった。しかし、そんな日本のワインもここ数年急激に進化してきている。まさに先人たちの努力の賜物である。また、記憶にも新しい伊勢志摩サミットにおいて、12 種類の日本ワインが提供されたことで日本のワインに対する注目が高まっている。と同時に、日本国内での制度上の不備も度々指摘されてきた。

ヨーロッパ諸国のような明確なルールが整備されていなかったため、原材料となるブドウの出どころに拘らず、たとえ、輸入原料であっても、日本国内で生産されたものすべてを「国産ワイン」と呼んでいた時代がある。

そこで、国主導で本格的にルール作りが進められ、その中でも、日本で生産されたワインに対して「国産ワイン」と「日本ワイン」という2つの違いを明確に定めたところに大きな意味がある。「国産ワイン」とは、輸入したブドウや果汁を使って日本のワイナリーで製造されたもの。一方で、「日本ワイン」とは、日本で栽培されたブドウだけを使用し、日本のワイナリーで製造されたもの、と厳密に区別されるようになった。これは 2015 年に策定され、2018 年 10 月から本格的に施行されるようになったのだが、まさについ最近の出来事であり、やはり他のワイン産地に比べ「出遅れ感」があることは否めない。

現在、日本国内には、山梨、長野などを中心に、北は北海道、南は九州・宮崎まで、全国各地に大小さまざまなワイナリーが 200 軒ほどある。そのなかでも、特に「日本ワイン」に力を入れているワイナリーでは、「オーナー制度」を取り入れているところが多く存在する。

「ワインの木オーナー制度」「苗木オーナー制度」等、名称こそさまざまだが、申込口数に応じて、ブドウの樹が割り振られ、「プレゼント」として結果的に総額で会費以上のワインが入手できるほか、ワイナリー見学や収穫体験などにも参加できるため、単に購入するだけでなく直接的にワイナリーと関わる内容となっている。

そんなオーナー制度を取り入れているワイナリーをいくつか紹介してみたいと思う。

| | | |
|-----------------|---|-----------------------|
| ・カーブドッチ（新潟県） | http://www.docci.com/ | 1 □ 5 年 税込 10,800 円 |
| ・フェルミエ（新潟県） | https://fermier.jp/ | 1 □ 1 年 税別 26,000 円 |
| ・ドメーヌ・ショオ（新潟県） | http://domainechaud.net/ | 1 □ 約 5 年 税込 25,000 円 |
| ・オチガビワイナリー（北海道） | http://www.occigabi.net/ | 1 □ 8 年 税込 10,000 円 |
| ・白山ワイナリー（福井県） | http://www.yamabudou.co.jp/ | 1 □ 5 年 税込 10,000 円 |

標準的なコースの期間と金額を掲載したが、中には、好みに合わせて選ばれるように複数のコースを設定しているワイナリーもある。ちなみに、私は 7 年ほど前からカーブドッチで 2 □ 分持っている。

ワインの味に対して言えば、「深み」を求める人にとっては、まだまだコレは！と言う「日本ワイン」に巡り合うのは難しいかもしれない。そのため、なかなか受け入れられにくいかもしれない。だが、言い換えてみれば、口当たりもよく、飲みやすいワインが多く、気軽に誰でも手が出しやすいのではないかと考えている。そんな「日本ワイン」には将来性があり、可能性を秘めているのではないかと思う。

このような制度を利用して直接ワイナリーと関わることによって、そのワイナリーの発展だけでなく、「日本ワイン」全体の発展にも繋がると考えている。一人でも多くの「日本ワイン」ファンが増える事を期待している。

「これは！！」と思う一本に出会った際は、ぜひオーナー制度の利用をお勧めしたい。興味を持たれた方は、ぜひ一度「日本ワイン」をお試しいただきたい。

9. 編集後記

2017年の大学祭は同窓会企画として前年に続き、「ハロウィン仮装コンテスト」を企画しました。一般の方に参加していただきたく、今年は去年以上に広報活動に力を入れ、道の駅、塾、大学周辺の地域の方々にポスターを配布し、SNSでの参加者募集など行いました。大学の学生会もこの企画に便乗したいと協力を依頼してきました。学生会・同窓会との初コラボイベントで、同窓会の役員たちもこの企画に力を入れて、企画を成功させようと獅子奮迅しました。そして、迎えた仮装コンテスト当日。何とこの日は台風が直撃するというとんでもない日になりました。雨風が強く、仮装コンテスト自体の開催も危ぶまれました。当日は、何とか開催することができました。広報活動により一般の方も多くの方が当日参加してくださり、会場はとても盛り上がりました。優勝した方にはUSJのペアチケットを贈呈することもでき同窓会としては達成感を味わうことができました。ただ、一つを除いては。その一つとは、「学生の常識の無さ」でした。いくら学生とは言えでも、常識がなければ、話にはなりません。イベントの開催にあたり学生との間で多くのズレが生じ、同窓会としても大人の対応をせざるを得ない状況でした。景品についても文句を言い、司会をやらせろと文句を言い、当日参加の一般の方への対応も景品も話が違ってご迷惑をおかけすることになりました。学生会にはこちらが一步譲っても、当日は話が全然違って、同窓会としては不満だらけの開催でした。来年は絶対に学生会とは協力はしないという役員も出たほどのことでした。記念写真も学生会だけしか撮ってないし、映ってないし、これで協力したいという学生会の思いはまるでないと感じました。

しかし、そんなことはありましたが、来年度も同じ企画「ハロウィン仮装コンテスト」で大学祭を盛り上げたい気持ちは同窓会役員共々同じであります。来年度も同窓会の活動を温かく見守っていただければと思います。

☆☆

鈴鹿大学同窓会「鈴風会」事務局

〒510-0298 三重県鈴鹿市郡山町 663-222

TEL : 059-372-2121 FAX : 059-372-2827 E-Mail : siu_reihukai@yahoo.co.jp

※同窓会への各種連絡、問合せにつきましては、メールにてお願い致します。